

第30回インターウニ・ゼミナール

(ドイツ語ドイツ文化ゼミナール)

30. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

参加者募集のお知らせ



参加申込みは次のサイトから：<http://www.interuni.jp/anmeldung>

携帯からの申込みは：<http://www.interuni.jp/keitai>

日時： 2011年3月11日(金)～15日(火)

場所： 獨協大学新甲子研修所 (福島県、最寄り駅は東北新幹線新白河駅。都内からチャーターバスが出ます)

参加費： 31,000円 (4泊5日宿泊代、食事代、テキスト代、通信費、保険料を含む。往復のバス利用は別料金です。)

募集人数： 90名程度 (申込み順。原則として学生・院生を対象としますが、ドイツ語学習者であれば社会人も可。)

テーマ： 日独友好 – „Freundschaft zwischen Japan und Deutschland“

ドイツ人と日本人の心温まる交流は300年以上前からありました。明治以後には日独間で文化や芸術、法律やスポーツなどさまざまな領域で密接な交流や友情が育まれ、美談が作られ、三国干渉をきっかけにいがみ合い、第一次世界大戦では互いに戦火を交え、第二次世界大戦では軍事同盟まで締結しました。そうした日独交流のさまざまな過去のエピソードを振り返り、これからどんな友好関係を築いていけるか、できるだけたくさんドイツ語を話ながら一緒に考えてみませんか？

インターウニ・ゼミナールは、ドイツ語をもっと学びたいと思い、またドイツ語圏の地域や日独文化交流に関心を持つ学生や教員が、全国から、そしてドイツからも集まって議論する4泊5日の合宿ゼミです。ここでは、「全国の新しい仲間たちと楽しく集中的にドイツ語を学ぶ」とことと「大学生らしく批判的知性を磨く」という2つの目標を追い続けてきています。日独の歴史と未来について真剣に考えながら、楽しくドイツ語で話をしてドイツ語漬けの5日間を過ごしましょう。



詳しくは <http://www.interuni.jp> をご覧ください。

主催：インターウニ・ゼミナール実行委員会 (代表：相澤 啓一、浜崎 桂子)

協力：Goethe-Institut Tokyo(ドイツ文化センター)、Deutscher Akademischer Austauschdienst(ドイツ学術交流会)、獨協大学

講師：相澤 啓一(筑波大)、Diana Beier(千葉大学)、Stefan Buchenberger(神奈川大)、Ralf Degen(一橋大学)、Katrin Dohlus(ドイツ学術交流会)、浜崎 桂子(立教大)、林志津江(立教大学)、Alexander Imig(中京大学)、柿沼 義孝(獨協大)、鎌倉 澄(学習院大)、David McCoy(学習院大)、岡村 りら(学習院大学)、境 一三(慶應義塾大学)、高橋 優(宇都宮大)、矢羽々 崇(獨協大学)、吉島 茂(聖徳大)、吉村 創(慶応高)、他(予定)

ゲスト：Kajo Niggstich(元Goethe-Institut Tokyo副所長)、Reinhard Zöllner(ボン大)、NN(韓国より)

